**関宿小学校･中学校連携教育について**

１　現　状

　　　関宿小学校･中学校学区の児童･生徒数は１クラス２０人前後、両校とも単学級で

あり、小学校の卒業生のほぼ全員がそのまま中学校へ進学する。クラス替えもない

ために同じ友達と９年間を過ごす。小中学校の距離はおよそ３００ｍと近い距離に

あり、１８年前から小中学校が合同で運動会を行っている。

　しかし、他の面ではさほど連携は進んでいなかった。そこで、運動会以外で児童

生徒の成長につながる連携はできないだろうかと考え、一昨年度から、小中学校の

職員で話し合いを重ねてきた。その中で、教員の自主性や自由な発想が生まれ始め、

ベテランから若手まで、一人ひとりの職員が、９か年で児童･生徒を育てるために、

共通の願いを持つことができるようになった。そこで次のような目的を持つように

なった。今後更なる小中連携の充実を図っていきたい。

２　目　的

　　（１）９か年の長期的スパンを持ち、一人ひとりの児童･生徒を小中学校の職員が

　　　　　意識して育てていく。

　　（２）小学校･中学校職員、地域の方々が児童･生徒と関わりを持ち、成長の一助と

　　　　　なるようにする。

　　（３）中学校卒業後も、地域で活躍できる児童・生徒を育てる。

　　（４）将来、自分の考えを周りの人々に伝えられる人になるように育てる。

　　（５）地域の歴史と伝統を学び、素晴らしい地域であることを伝承していく。

３　連携について

　　◎連携を行ううえで、「学習のつながり」「地域とのつながり」「友達とのつながり」

　　　「生徒指導のつながり」「教職員のつながり」を重視していくこととする。

　　（１）「学習のつながり」と「地域とのつながり」

　　　　○交換授業（小学校から一部教科担任制の導入）

　　　　　・小学校の職員が中学校へ、中学校の職員が小学校へ行き、専門性を生かし

授業をする。

　　　　　・多くの目で児童・生徒理解を行う。

　　　　　・小学生は中学校の先生との授業やふれあいを通し、中学校への不安解消の

　　　　　　一つとする。

　　　　○総合的な学習を７年スパンで実施

　　　　　・テーマを決め、数時間をそのテーマについて学習していく。（地域）

　　　　　・発表会を合同で行い、地域についての理解を児童・生徒同士で発信する。

　　　　　・地域の方を招いてのキャリア教育。

・関宿水環境保全会のみなさんとの合同地域美化活動。

　　　　○田植え･稲刈り体験や関宿あおぞら祭りでの昔遊びを通しての交流や、郷土の

歴史に詳しい方を招いて歴史を学ぶ出前授業。

　　（２）「友達とのつながり」

　　　　①行事

　　　　　○小中合同運動会

　　　　　　・事前の全校奉仕作業や運動会を通して、お互いのよさを知り、認め合える

場とする。

　　　　　　・中学生は小学生の手本となることを自覚する場とする。

　　　　　　・中学生の動きを見て全体を見られる視野を学ぶ。

　　　　　　・児童会･生徒会が中心となってスローガンを決定する過程で、お互いの立場

　　　　　　　でしっかりと意見を伝えることができるようにする。

　　　　　○入学式・卒業式・文化祭・フェスティバル交流

　　　　　　・小学校卒業時の担任が中学校の卒業式に参列することで、両校の職員生徒

　　　　　　　保護者が９か年の成長を喜び合えるようにする。

　　　　　　・文化祭やフェスティバル等に、児童・生徒が参加することで、相互参観

し、お互いのよさを学ぶ。

　　　　　○集団下校

　　　　　　・防災教育の一環として、小・中学生が集団下校することで自然災害への

　　　　　　　備えとするだけでなく、交通事故の抑制や不審者に備える。

　　　　　　・下校班長となる５・６年生は、自分の下校班を安全に帰らせるという自覚

　　　　　　　をもたせ、中学生には自分の安全を考えるとともに、小学生の安全を見守

り、地域に貢献するという意識を高める。

　　　　②部活動

　　　　　○運動部

　　　　　　・長距離、陸上練習を合同で行う。

（市内陸上･駅伝を見据えた基礎体力作り）

・夏休み中の中学校での部活動体験。（保護者の承諾）

　　　　　○音楽部

　　　　　　・合同練習（合同運動会での演奏）

　　（３）「教職員のつながり」

　　　　○お互いの授業を参観し、児童・生徒の実態把握をし、授業等に活かす。

　　　　○発達段階の違いの認識・お互いの授業で大切にしていることや使用教材や指導

方法の違いを知る。

　　　　○学習内容の系統を意識して、９年間を見据えた授業を行う。

　　　　○合同研修会

　　　　　・人権教育　・不祥事防止　・アクティブラーニング　・若手授業研修など

　　　　○発達段階に応じた家庭学習に系統性を持たせる。

　　　　　・家庭学習ノートや宿題の出し方、内容について保護者への理解や啓発

　　（４）「生徒指導のつながり」

　　　　○生徒理解に一貫性を持たせる。（生徒指導の充実）

　　　　　・長欠児童・生徒理解のための定期的な情報交換と対応の在り方を探る。

　　　　　・挨拶や返事、清掃活動など、進んで行うことのできる児童・生徒を目指す。

　　　　　・発達段階に応じた授業規律の在り方の情報交換と共通理解をする。

４　研究主題

　　　　　野田市立関宿小学校　　　　　　　　　　　　野田市立関宿中学校

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 《学校教育目標》心豊かなたくましい児童の育成 |  | 《学校教育目標》知性と特性を備えた心身ともに健やかな生徒の育成 |
| 《目指す児童像》(1)自ら学び、考え、進んで活動する子(2)豊かな心で、思いやりのある子(3)健康で明るく、がんばる子 | 《目指す児童像》(1)確かな学力を身につけた生徒の育成(2)豊かな心をもち主体的に学校生活を送る生徒の育成(3)すすんで体を鍛え体力向上を図る生徒の育成 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 《研究主題》　主体的に取り組む児童・生徒の育成～小中連携教育の充実を目指して～ |

５　年間活動予定

|  |  |
| --- | --- |
| ４月 | 交換授業開始　　小中合同職員会議 |
| ５月 | 運動会会議 |
| ６月 | 小中合同運動会　　学習サポート（市内陸上の日残留生徒が小学校へ） |
| ７月 | 小中合同職員会議 |
| ８月 | 小中合同研修（不祥事防止） |
| ９月 | 児童生徒アンケート実施 |
| １０月 | 関中祭 |
| １１月 | 関小フェスティバル |
| １２月 | 合同集団下校　　小学生体験授業 |
| １月 | 小中合同職員会議 |
| ２月 | 児童生徒アンケート実施 |
| ３月 | 卒業式 |

　　　　　　※随時、相互授業参観を行う。